

目次

謝 辞	i
目 次	iii
序 論	1
1. 目的	3
2. 調査の方法	5
3. コーパス	6
4. 構成	7
第 1 章 現代半島スペイン語における二形式の機能	9
1. 1. 基本的意味と用法	11
(1) RAE (1973)	11
(2) Gili Gaya (1993 ¹⁵)	12
(3) Alarcos (1980 ³)	13
(4) Bello (1988, 初版 1847)	14
(5) Lenz (1925)	14
(6) Keniston (1937)	15
(7) 高橋 (1967)	17
(8) 西川 (1995)	18
(9) まとめ	19
1. 2. 二形式の時制的・アスペクト的特徴	19
1. 2. 1. 各概念の定義	19
(1) 時制	20
(2) アスペクト	21
1. 2. 2. 時制的特徴とアスペクト的特徴	23
1. 2. 2. 1. 問題の所在	23
(1) “pretérito (pasado)”, “perfecto”	24

(2) “anterioridad”	24
(3) “absoluto”	25
(4) 問題の所在	26
1. 2. 2. 2. 各形式の時制的・アスペクト的特徴	26
(1) Alarcos (1994)	27
(2) 寺崎 (1975, 1998)	29
(3) まとめ	30
1. 2. 2. 3. その他の論考	31
(1) 時間的關係 (relación temporal)に基づく論考	31
(2) 「語りの世界」の時制と「説明の世界」の時制	35
1. 3. 時の副詞類との関係	39
1. 4. 第 1 章のまとめ	42
第 2 章 現代語における二形式の機能分担の地域的バリエーション	45
2. 1. 第 2 章の目的	47
2. 2. 現代語における二形式の機能分担の地域的バリエーション	48
2. 2. 1. Kany (1970)	48
2. 2. 2. Cartagena (1999)	52
2. 2. 3. 寺崎 (1987)	55
2. 2. 4. その他の地域別論考	58
2. 2. 4. 1. カナリアス諸島	58
(1) Almeida (1987-1988)	59
(2) Herrera Santana & Medina López (1991)	60
(3) Piñero Piñero (1998)	63
(4) Serrano (1994)	66
(5) カナリアス諸島のスペイン語についてのまとめ	69
2. 2. 4. 2. マドリード	70
2. 2. 4. 3. プエルト・リコ	73
2. 2. 4. 4. 中央アメリカ	74
2. 2. 4. 5. ベネズエラ	75
2. 2. 4. 6. コロンビア	75
2. 2. 4. 7. ペルー、ボリビア	78
2. 2. 4. 8. アルゼンチン	79

(1) ブエノス・アイレス	80
(2) サンタ・フェ	82
(3) ロサリオ	83
(4) その他の地域	83
(5) アルゼンチンのスペイン語についてのまとめ	84
2. 2. 4. 9. 地域別論考のまとめ	84
2. 3. 個別検証—メキシコスペイン語の単純過去形と現在完了形	85
2. 3. 1. Lope Blanch (1961)	85
2. 3. 2. 寺崎 (1979)	90
2. 4. 半島スペイン語とメキシコスペイン語の戯曲における使用状況	93
2. 4. 1. 二形式の出現頻度	93
2. 4. 2. 二形式の用法別分析	95
2. 4. 2. 1. 「直前の完了」	97
2. 4. 2. 2. 「継続・反復」	103
2. 4. 2. 3. 「結果状態」	107
2. 4. 3. 二形式の選択に関わるその他の要因	108
2. 4. 3. 1. 「否定状態」	108
2. 4. 3. 2. 「経験」	112
2. 4. 4. 時間表現との共起	113
2. 4. 4. 1. ahora	114
2. 4. 4. 2. hace+経過時間	115
2. 4. 4. 3. ya	116
2. 5. 機能分担に関わる要因の地域的差異	117
2. 6. 第 2 章のまとめ	118
第 3 章 半島スペイン語における単純過去形と現在完了形の通時的変遷	121
3. 1. 第 3 章の目的	123
3. 2. ラテン語から中世スペイン語へ	124
3. 2. 1. ラテン語における起源	124
3. 2. 1. 1. 単純過去形の起源	124
3. 2. 1. 2. 現在完了形の起源	129
3. 2. 2. 中世スペイン語とそれ以降の状況	132
3. 2. 2. 1. 単純過去形の意味的推移	132

3. 2. 2. 2. 現在完了形の意味的推移	138
3. 2. 3. 二形式の意味的推移のまとめ	142
3. 3. 15 世紀後半から 17 世紀前半の半島スペイン語における状況	143
3. 3. 1. 調査について	143
3. 3. 2. 戯曲形式のテキストにおける使用	144
3. 3. 2. 1. 調査について	144
3. 3. 2. 2. 二形式の出現頻度	146
3. 3. 2. 3. 二形式の用法別分析	148
(1) 「直前 (拡張された現在)の完了」	149
(2) 「継続・反復」	161
(3) 「結果状態」	170
3. 3. 2. 4. 戯曲形式のテキストにおける使用状況のまとめ	173
3. 3. 3. 自伝形式のテキストにおける使用	175
3. 3. 3. 1. 調査について	175
3. 3. 3. 2. 調査対象	176
3. 3. 3. 3. 二形式の出現頻度	178
(1) 総出現数	178
(2) テキストの性質との関係	179
(3) 人称との関係	179
(4) テキストの展開と各形式の出現状況	180
3. 3. 3. 4. 分析	183
(1) 時間表現との共起	183
(2) 既出テキストへの言及	189
(3) 経験	195
(4) 事象の継続・反復性	198
(5) 事象回数—vez, veces を含む表現との共起—	205
3. 3. 3. 5. 自伝形式のテキストにおける使用状況のまとめ	212
3. 4. 第 3 章のまとめ	215
第 4 章 植民地時代の文書における単純過去形と現在完了形	217
4. 1. 第 4 章の目的	219
4. 2. 「アルカイスモ」について	220
4. 3. メキシコ(ヌエバ・エスパーニャ)の文書における状況 (16 世紀～17 世紀) ...	225

4. 3. 1. 先行個別研究 —Lope Blanch (1970)—	225
4. 3. 2. 調査について	229
4. 3. 3. 二形式の出現頻度	230
4. 3. 3. 1. 総出現数	230
4. 3. 3. 2. <i>DLNE</i> における状況	231
4. 3. 3. 3. 戯曲作品における状況	233
4. 3. 4. 分析	234
4. 3. 4. 1. 「拡張された現在(直前)の完了」	234
(1) 時間表現との共起	234
(2) 直前の行為に言及していることが文脈的に分かる例	242
(3) 経験	244
4. 3. 4. 2. 過去の特定時点の事象	246
4. 3. 4. 3. 「継続・反復」	248
(1) <i>siempre, hasta ahora</i>	249
(2) <i>no, nunca, jamás</i>	251
(3) <i>vez, veces</i>	253
4. 3. 5. メキシコ(ヌエバ・エスパーニャ)の文書における状況のまとめ	255
4. 4. イスパノアメリカのいくつかの都市の文書における状況(16世紀~18世紀)	257
4. 4. 1. 調査について	257
(1) 調査対象	257
(2) 方法	259
4. 4. 2. 二形式の出現頻度	259
(1) 総出現数	259
(2) テクストの性質との関係	261
(3) 年代との関係	265
(4) 書き手の出身地との関係	266
(5) 名宛人との関係	268
(6) 二形式の出現状況のまとめ	269
4. 4. 3. 分析	270
4. 4. 3. 1. 「拡張された現在(直前)の完了」	270
(1) 時間表現との共起	270
(2) 既出テキストへの言及	281
(3) 直接話法中の「直前の完了」用法	284

(4) 「拡張された現在(直前)の完了」用法のまとめ	286
4. 4. 3. 2. 過去の特定時点の事象	288
(1) haber を含む表現	288
(2) 日付の表示	294
4. 4. 3. 3. 「継続・反復」	296
(1) siempre; hasta ... , a	296
(2) nunca, jamás, en mi vida	301
(3) vez, veces	306
(4) 「継続・反復」用法のまとめ	311
4. 4. 4. DHLHA の文書における状況のまとめ	312
4. 5. 第 4 章のまとめ	313
第 5 章 結 論	315
参考文献	323
資料体	332
(資料 1) DLNE の分析資料(44 文書)における単純過去形(PS)と現在完了形(PC)の頻度	335
(資料 2) DHLHA の分析資料(133 文書)における単純過去形(PS)と現在完了形(PC)の頻度	337
要 旨	
論文の和文要旨	345
論文の英文要旨	349